

**CASBEE神戸 ver.3**  
**深江竹友寮建替計画(F計画)**

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸 ver.3

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE神戸 ver.3/CASBEE-BD

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>4.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>							<b>0.40</b>		-	<b>3.8</b>
<b>1 音環境</b>						<b>3.5</b>	0.15	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.5</b>
1.1 室内騒音レベル		騒音レベル: 40dB A				<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.50	
1.2 遮音						<b>3.0</b>	0.50	<b>3.2</b>	0.50	
1 開口部遮音性能						<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.30	
2 界壁遮音性能						-	-	<b>3.0</b>	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		LL=45				-	-	<b>4.0</b>	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	<b>3.0</b>	0.20	
1.3 吸音						-	-	-	-	
<b>2 温熱環境</b>						<b>3.6</b>	0.35	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.6</b>
2.1 室温制御						<b>4.2</b>	0.50	<b>4.2</b>	0.50	
1 室温		冬期夏期24℃の室温を実現可能な設備要領を確保				5.0	0.63	5.0	0.63	
2 外皮性能						3.0	0.38	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						-	-	-	-	
2.2 湿度制御						<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.5</b>	0.25	<b>4.8</b>	1.00	<b>3.9</b>
3.1 昼光利用						<b>3.2</b>	0.30	<b>4.4</b>	0.30	
1 昼光率		住居部昼光率=4.0				2.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口						-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備		ハイサイドライトの採用				5.0	0.40	5.0	0.20	
3.2 グレア対策						<b>3.0</b>	0.30	<b>5.0</b>	0.30	
1 昼光制御		住居部: ブラインド+庇で昼光を制御				3.0	1.00	5.0	1.00	
3.3 照度		照度100lx以上、複数機器の使い分けが可能				<b>3.0</b>	0.15	<b>5.0</b>	0.15	
3.4 照明制御		自動照明制御				<b>5.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25	
<b>4 空気質環境</b>						<b>4.2</b>	0.25	<b>4.3</b>	1.00	<b>4.2</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		内装材は全てF☆☆☆☆を使用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						<b>4.5</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.38	
1 換気量		換気量: 30m <sup>3</sup> /h				4.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		開閉可能な窓面積を居室面積の1/6以上確保				-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		空気取り入れ口は汚染源のない方位且つ各種排気口と3m以上離し				5.0	0.50	5.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御						-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	<b>0.30</b>	-	-	<b>4.0</b>
<b>1 機能性</b>						<b>4.3</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00	<b>4.1</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>4.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画		建築物移動等円滑化基準を満たしている				4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						<b>5.0</b>	0.30	<b>5.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観		住居部天井高=3.51m				-	-	5.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画		内観パースによる建物コンセプトの事前検証				5.0	1.00	5.0	0.50	
1.3 維持管理						<b>4.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計において取組みが標準以上				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		維持管理用機能の確保において取組みが標準以上				4.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>3.9</b>	0.30	-	-	<b>3.9</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.4</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		免震装置の採用				5.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>4.5</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		劣化対策等級3相当				5.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		押し成形セメント板				5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床: タイルカーペット、壁: EP塗、天井: 化粧打放しコンクリート				4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		高湿部にガルバリウムダクト・ステンレスダクトを使用				5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途上位3種の2種以上にB以上を使用し、Eは不使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		空調・換気設備の系統を区分。熱源種の二重化				5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		節水型器具の採用、受水槽を2基設置				5.0	0.20	-	-	
3 電気設備		非常用発電設備の設置、精密機器を地下に設置しない				4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		光ケーブルの使用、精密機器を地下に設置しない				5.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>4.2</b>	0.30	<b>3.8</b>	1.00	<b>4.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>					<b>4.6</b>	0.50	
1	階高のゆとり	住居部階高=3.8m			<b>5.0</b>	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.26			<b>4.0</b>	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>					<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>4.2</b>	1.00			
1	空調配管の更新性	DSIに扉を設置	<b>5.0</b>	0.20			
2	給排水管の更新性	PSIに扉を設置	<b>5.0</b>	0.20			
3	電気配線の更新性	EPSに扉を設置	<b>5.0</b>	0.10			
4	通信配線の更新性	EPSに扉を設置	<b>5.0</b>	0.10			
5	設備機器の更新性		<b>3.0</b>	0.20			
6	バックアップスペースの確保		<b>3.0</b>	0.20			
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				<b>0.30</b>			<b>4.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>5.0</b>	0.30			<b>5.0</b>
外構緑化指数50%以上確保							
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>4.0</b>	0.40			<b>4.0</b>
周辺のまちなみや景観に対して標準以上の配慮を行った							
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>4.5</b>	0.30			<b>4.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>5.0</b>	0.50			
地域性・アメニティへの配慮に関して充実した取組みを行った							
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>4.0</b>	0.50			
屋上緑化の実施							
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>4.0</b>
<b>LR1 エネルギー</b>				<b>0.40</b>			<b>4.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20			<b>3.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>2.0</b>	0.10			<b>2.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>			<b>5.0</b>	0.50			<b>5.0</b>
[BEI][BEIm] = 0.49							
<b>4 効率的運用</b>			<b>5.0</b>	0.20			<b>5.0</b>
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
集合住宅の評価			<b>5.0</b>	1.00			
4.1	モニタリング	I,SEM(BEMS)の採用	<b>5.0</b>	0.50			
4.2	運用管理体制	消費エネルギーの見える化、省エネサポートシステムの導入	<b>5.0</b>	0.50			
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				<b>0.30</b>			<b>3.9</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20			<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>			<b>4.0</b>	0.40			
自動水栓、自閉水栓、節水型トイレの採用							
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		<b>3.0</b>	1.00			
2	雑排水等利用システム導入の有無						
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>4.3</b>	0.60			<b>4.3</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			<b>3.0</b>	0.10			
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			<b>3.0</b>	0.20			
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			<b>5.0</b>	0.20			
高炉材(柱)							
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>			<b>5.0</b>	0.20			
ビニル床シート(床)、吸音板(天井)、再生木材(ウッドデッキ)							
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			<b>4.0</b>	0.10			
針葉樹材の使用							
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			<b>5.0</b>	0.20			
GL工法、二重床							
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20			<b>3.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>4.0</b>	0.30			
対象物質を含有しない建材を使用(塗り床)							
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.0</b>	0.70			
1	消火剤						
2	発泡剤(断熱材等)		<b>3.0</b>	0.50			
3	冷媒		<b>3.0</b>	0.50			
<b>LR3 敷地外環境</b>				<b>0.30</b>			<b>3.8</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			<b>4.4</b>	0.33			<b>4.4</b>
LCCO2排出率=66%							
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.8</b>	0.33			<b>3.8</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>4.0</b>	0.25			
排出濃度が基準値の90%以下に抑えられている							
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>4.0</b>	0.50			
隣棟間隔指標=0.75							
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>3.5</b>	0.25			
1	雨水排水負荷低減	雨水流出抑制対策を実施	<b>4.0</b>	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25			
3	交通負荷抑制	適切な駐輪・駐車スペース、荷捌きスペースの設置	<b>4.0</b>	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		<b>3.0</b>	0.25			
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33			<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40			
1	騒音		<b>3.0</b>	1.00			
2	振動						
3	悪臭						
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40			
1	風害の抑制		<b>3.0</b>	0.70			
2	砂塵の抑制						
3	日照障害の抑制		<b>3.0</b>	0.30			
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの項目の過半を満たし、広告物照明を設置しない	<b>5.0</b>	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		<b>3.0</b>	0.30			